



2020年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年2月13日

上場会社名 ゼット株式会社
 コード番号 8135 URL <https://zett.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 渡辺 裕之

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員管理本部長 (氏名) 林 賢志

TEL 06-6779-1171

四半期報告書提出予定日 2020年2月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	31,244	0.1	300	19.5	353	21.3	230	34.5
2019年3月期第3四半期	31,227	9.2	373	37.4	448	33.2	351	14.6

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 198百万円 (%) 2019年3月期第3四半期 517百万円 (24.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	11.77	
2019年3月期第3四半期	17.96	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第3四半期	22,609	10,012	44.3	511.49
2019年3月期	23,532	10,309	43.8	526.64

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 10,012百万円 2019年3月期 10,309百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		0.00		5.00	5.00
2020年3月期		0.00			
2020年3月期(予想)				5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2019年3月期 期末配当金の内訳 普通配当2円00銭 特別配当3円00銭

2020年3月期 期末配当金の内訳 普通配当2円00銭 特別配当3円00銭

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	43,000	1.5	600	6.8	690	5.9	520	27.1	26.56

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期3Q	20,102,000 株	2019年3月期	20,102,000 株
期末自己株式数	2020年3月期3Q	527,004 株	2019年3月期	526,932 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期3Q	19,574,996 株	2019年3月期3Q	19,575,121 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっては、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善が続くなか緩やかな回復基調が続いております。一方、通商問題の動向や海外経済の減速等、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

このような状況の中で当社グループは、「成長戦略」として①自社品事業の強化、②アスレチックビジネスの深化、③ライフスタイルビジネスの進化、④主カブランドの再強化、⑤EC市場での多面的対応、⑥新事業・新商品・特に新規販路・新サービスの開発とチャレンジに取組み、「構造改革」として①利益率の向上、②経営の生産性の向上、③物流改革に取組みました。また、「体質強化」として①人財と組織の活性化、②グループの一体化に取組みました。この方針のもとグループ各社一丸となり、企業価値向上並びに業績向上に努めました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は31,244百万円(前年同期比0.1%増)、営業利益は300百万円(前年同期比19.5%減)、経常利益は353百万円(前年同期比21.3%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は230百万円(前年同期比34.5%減)となりました。

部門別の業績は、次のとおりであります。

(卸売部門)

卸売部門は、「アスレチックス」マーケットは、テニス用品、競技ウェアは好調に推移したものの、野球・ソフトボール用品は低調に推移し、また、競技シューズ、サッカー用品が苦戦したこと等により低調に推移しました。「ライフスタイル」マーケットは、取扱いブランド等の増加等によりカジュアルウェア、カジュアルシューズが堅調に推移しました。また、アウトドア用品は、引き続き人気の高まりもあり好調に推移しております。「ボディケア」マーケットは、低調に推移しました。

また、指定管理事業は、堅調に推移しました。

この結果、売上高は29,854百万円(前年同期比0.0%増)となりました。

(製造部門)

製造部門は、収益力の高い企業体質を構築し、企業価値向上に努めました。野球・ソフトボール用品は、オーダークラブが前期より引き続き堅調に推移しました。また、ヘルメットやFRP製バット、ユニフォーム昇華プリントが高評価を得ており、引き続き開発に取り組んでおります。「コンパース」のバスケットボール用品においては、例年より秋以降の気温が高く推移したことでウォームアップウェア等が苦戦し、総じて低調に推移しました。

また、株式会社ゼノアは2019年3月にゼット株式会社へ吸収合併しております。

この結果、売上高は220百万円(前年同期比14.4%減)となりました。

(小売部門)

小売部門は、12月に店舗を大阪駅前第4ビル2階から大阪駅前第2ビル1階へと増床移転しました。それに伴う相乗効果もあって堅調に推移しました。また、登山用品ECサイト「ロッジ PREMIUM SHOP」はインターネット販売購入者の増加が続いており、引き続き堅調に推移しました。

この結果、売上高は370百万円(前年同期比6.8%増)となりました。

(その他部門)

スポーツ施設運営部門は、企画、販促活動、新規トレーニングマシンの導入等により新規会員の獲得等に努めましたが、近隣の競合店との競争激化が続いており低調に推移しました。物流部門は、外部受託業務における取り扱いを増加させたことにより堅調に推移しました。

この結果、売上高は799百万円(前年同期比2.8%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における財政状態は、流動資産が17,135百万円となり、前連結会計年度末に比べ350百万円減少いたしました。これは主に現金及び預金が1,068百万円、商品及び製品が585百万円増加したものの、受取手形及び売掛金が2,162百万円減少したことによるものであります。固定資産は5,474百万円となり、前連結会計年度末に比べ573百万円減少いたしました。これは主に投資有価証券が597百万円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は22,609百万円となり、前連結会計年度末に比べ923百万円減少いたしました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は10,472百万円となり、前連結会計年度末に比べ455百万円減少いたしました。これは主に電子記録債務が1,198百万円増加したものの、支払手形及び買掛金が1,421百万円減少したことによるものであります。固定負債は2,124百万円となり、前連結会計年度末に比べ171百万円減少いたしました。これは主にその他が55百万円増加したものの、繰延税金負債が161百万円減少したこと等によるものであります。

この結果、負債合計は12,597百万円となり、前連結会計年度末に比べ626百万円減少いたしました。

(純資産)

当第3四半期連結会計年度末における純資産合計は10,012百万円となり、前連結会計年度末に比べ296百万円減少いたしました。これは主に利益剰余金が132百万円増加したものの、その他有価証券評価差額金が424百万円減少したこと等によるものであります。

この結果、自己資本比率は44.3%（前連結会計年度末は43.8%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、2019年5月13日の「2019年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）」で公表しました通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,985	5,054
受取手形及び売掛金	8,799	6,637
電子記録債権	1,021	1,043
商品及び製品	3,398	3,986
仕掛品	50	68
原材料及び貯蔵品	143	142
その他	145	258
貸倒引当金	△59	△54
流動資産合計	17,485	17,135
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,885	2,909
減価償却累計額	△2,152	△2,170
建物及び構築物（純額）	733	738
土地	1,228	1,228
その他	835	890
減価償却累計額	△717	△720
その他（純額）	118	169
有形固定資産合計	2,080	2,136
無形固定資産		
その他	87	106
無形固定資産合計	87	106
投資その他の資産		
投資有価証券	3,191	2,594
長期貸付金	16	14
敷金	247	220
その他	509	505
貸倒引当金	△85	△102
投資その他の資産合計	3,879	3,232
固定資産合計	6,047	5,474
資産合計	23,532	22,609

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,674	5,252
電子記録債務	2,904	4,102
短期借入金	127	99
未払法人税等	159	2
未払消費税等	112	37
賞与引当金	221	223
返品調整引当金	68	51
その他	659	702
流動負債合計	10,928	10,472
固定負債		
長期借入金	81	6
繰延税金負債	696	535
退職給付に係る負債	359	369
長期未払金	267	267
その他	890	945
固定負債合計	2,295	2,124
負債合計	13,223	12,597
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,005	1,005
資本剰余金	2,968	2,968
利益剰余金	4,475	4,607
自己株式	△74	△74
株主資本合計	8,374	8,507
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,934	1,509
繰延ヘッジ損益	4	0
為替換算調整勘定	11	7
退職給付に係る調整累計額	△16	△13
その他の包括利益累計額合計	1,934	1,505
純資産合計	10,309	10,012
負債純資産合計	23,532	22,609

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
売上高	31,227	31,244
売上原価	25,303	25,203
売上総利益	5,924	6,040
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費	393	420
運賃及び荷造費	586	610
賃借料	195	213
役員報酬及び給料手当	2,187	2,260
貸倒引当金繰入額	21	12
賞与引当金繰入額	204	209
減価償却費	93	96
その他	1,867	1,916
販売費及び一般管理費合計	5,550	5,740
営業利益	373	300
営業外収益		
受取利息	1	1
受取配当金	41	33
受取賃貸料	14	16
業務受託料	11	7
その他	40	22
営業外収益合計	109	82
営業外費用		
支払利息	1	0
売上割引	28	28
その他	3	1
営業外費用合計	33	30
経常利益	448	353
特別損失		
減損損失	—	15
特別損失合計	—	15
税金等調整前四半期純利益	448	337
法人税、住民税及び事業税	97	48
法人税等調整額	—	58
法人税等合計	97	107
四半期純利益	351	230
親会社株主に帰属する四半期純利益	351	230

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	351	230
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	153	△424
繰延ヘッジ損益	14	△3
為替換算調整勘定	△5	△3
退職給付に係る調整額	2	2
その他の包括利益合計	166	△429
四半期包括利益	517	△198
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	517	△198

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社グループは、スポーツ事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。